

## 2020年度 1学期始業式 校長の話

～本当の目標の立て方～

2020年度新学期が始まりました。みなさんは今年度の目標を決めましたか？

昨年度は全力で取り組みたいことを一人ひとり決めてもらいましたが、今年度は、目標を立てる際に、一つ気をつけてもらいたいことがあります。それは「第三者の視点を入れて目標を立てる」ことです。「勉強を頑張って50番以内に入る」「部活を頑張って県大会に出場する」「希望の大学に合格する」などの目標は、自分の視点だけで、第三者の視点が入っていません。今年度の目標は、社会にとって自分はどうかという第三者の目を取り入れて目標を立ててください。

例えば「野球選手になって大金を儲ける」という自分の願望を目標とするのではなく、「野球選手になって感動と希望を与える人になる」という第三者（他の人）から見てどんな人になりたいかを考えた目標を立てるということです。「大金を儲ける」が目標の選手と、「感動と希望を与える」が目標の選手とでは練習や、試合への取り組み方、チームの仲間やファンへの接し方なども全く変わってきます。目標をどう立てるかで、その後の活動の方向が決まってきます。

「社会にとって自分はどうか」が難しければ、クラスの中でどんな人として認められたいかを考えて目標を立ててください。例えば「理科の実験名人になる」「球技大会のヒーローになる」「モテる人になりたい」でもよいです。モテる人をイメージすると、クラス活動に積極的に参加したり、勉強や部活で活躍したり、人にやさしくしたりと、これからやることが見えてきます。目標達成に向かって具体的に綿密な計画を立てることができます。

そして、もう一ついいことがあります。第三者の視点を入れて目標を立てると、自分探して悩んだり、自分は何のために生きているのだろうと考えこんでしまったりすることがなくなります。答えのない問いに悩むことなく、やるべきことがはっきり見えてきます。

ちなみに、本校の今年度の目標は、三木北高校を地域の方々、小学生、中学生から素敵なお兄さんお姉さんが通う「憧れの高校」にすることです。一人ひとりが素敵な高校生になって、憧れの三木北高校にしましょう。